●観察研究（分析研究）のクリティーク・チェックシート（作成：2020.6.1）

抄読する論文の掲載誌名： （IF:　　　　／雑誌のランキング　　　　　）

抄読する論文の被引用回数：

発表者氏名：

発表日：

抄読する理由：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | チェック項目 | チェック  （◯△×） | チェックの理由  （記載箇所を示すだけではNG） |
| タイトル | | タイトルは本文の内容を適切に表しているか |  |  |
| 抄録 | | 雑誌の投稿規定に沿って、研究の要約が簡潔に記載されているか。 |  |  |
| 序論 | 背景 | 適切な文献を引用し、この研究テーマについて、既に明らかにされていること、先行研究の限界について記載されているか |  |  |
| 上記に基づき、この研究の必要性が述べられているか |  |  |
| 目的 | 先行研究を踏まえて、研究の具体的な目的を明記しているか |  |  |
| 方法 | 研究  デザイン | 研究デザインが研究目的にそったものであるか |  |  |
| 研究場所 | 研究場所が明確に記載されているか |  |  |
| 研究期間 | 研究に関連した日付を明記しているか（危険因子への曝露が疑われた時期や、疾患の発生時期、追跡の開始と終了の時期など） |  |  |
| 対象者 | 〈コホート研究〉 研究対象者の選定基準・除外基準・選定方法・追跡方法について記述しているか |  |  |
| 〈症例対照研究〉 研究対象者 （症例群、対照群それぞれ）の選定基準・除外基準・選定方法について記述しているか |  |  |
| 〈横断研究〉 研究対象者の選定基準・除外基準・選定方法について記述しているか |  |  |
| 変数 | 従属変数・独立変数 （危険因子も含む）の定義をしているか。潜在的な交絡因子を明確に定義しているか |  |  |
| データ  ソース／測定方法 | 関連する各変数に対して、データの情報源（医療記録など）、測定・評価方法の詳細を記述しているか |  |  |
| 2つ以上の群がある場合は、測定方法の比較可能性について明記しているか |  |  |
| 標本数 | 研究の対象者数がどのように決められたかを説明しているか |  |  |
| バイアス  （偏り） | バイアス（偏り）を最小限にする方法があればすべて示しているか  例）横断研究：サンプリングバイアス  　　(標本は無作為に選ばれたか)  　 症例対照研究：情報バイアス  　 コホート研究：参加バイアス  　　(研究に参加した人と、しなかった人) |  |  |
| 統計的手法 | 統計学的手法は研究デザイン、目的に沿って適切であるか |  |  |
| 交絡の調整方法が明記されているか |  |  |
| 倫理的配慮 | | 倫理的配慮は記載されているか |  |  |
| 結果 | 対象者 | 研究対象者の選定から、分析するまでの各段階で参加者の人数を示しているか |  |  |
| 研究対象者の選定から、分析するまでの各段階での研究不参加 （脱落者など）の理由を記述しているか |  |  |
| コホート研究では、フローチャートを用いて記述しているか（記載されているほうがよい） |  |  |
| データの記述 | 参加者の特徴 （例：人口統計学的特徴や臨床的特徴など）や主な変数に関して、表などで適切に記載しているか |  |  |
| 各変数について欠損値を記述しているか |  |  |
| コホート研究では、追跡期間を平均および合計で要約しているか |  |  |
| アウトカム  (評価指標) | 主要変数の記述統計と統計学的分析を、適切に記述しているか |  |  |
| 図表 | 図表が適切に用いられているか。文章と表の数字は一致しているか |  |  |
| 考察 | 結果の要約 | 研究目的に関する主要な結果を要約しているか |  |  |
| 結果の解釈 | 目的、先行研究の結果、その他の関連するエビデンスを考慮し、慎重で総合的な結果の解釈を記載しているか |  |  |
| 本研究で得られた新たな知見に対し、文献を用いて結果を支持する根拠を提示しているか。結果を支持しない解釈についても検討し、反論しているか |  |  |
| 限界 | 潜在的なバイアス (偏り)や交絡の問題を考慮し、研究の限界を議論しているか |  |  |
| 一般化可能性  (外的妥当性) | 研究結果を一般化できる可能性について議論しているか（他の対象者や場所などにどれだけ応用できるかという可能性） |  |  |
| 実践への  示唆 | 結果が、実践（政策、教育、臨床など）にどのように活用されるべきかについて記載されているか |  |  |
| 研究資金について | | 研究助成などの資金源を記述しており、利益相反の恐れはないか。（研究内容に照らし合わせて、研究資金の有無の妥当性も確認する） |  |  |
| 現在の研究のもとになっている大規模研究がある場合、研究資金のところに記載しているか |  |  |

**参考文献**

Vandenbroucke, J.P., von Elm, E., Altman, D.G., Götzsche, P.C., Mulrow, C.D., et al. STROBE Initiative. Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology (STROBE) : explanation and elaboration. Epidemiology, 18(6), 805-35, 2007.をもとに作成。

★チェックシートについてわかりにくいところがある場合は、本書に例を挙げて詳しく説明していますのでぜひ参考にして下さい。

『研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版』（<http://jnapcdc.com/cq>）